

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年5月24日 (2018.5.24)

【公開番号】特開2018-16550(P2018-16550A)

【公開日】平成30年2月1日 (2018.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2018-004

【出願番号】特願2016-145652(P2016-145652)

【国際特許分類】

A 0 1 N 59/08 (2006.01)

A 6 1 L 2/18 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 N 59/00 (2006.01)

A 0 1 N 25/02 (2006.01)

B 0 8 B 3/08 (2006.01)

A 6 1 L 101/06 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 59/08 A

A 6 1 L 2/18

A 0 1 P 3/00

A 0 1 N 59/00 A

A 0 1 N 59/00 Z

A 0 1 N 25/02

B 0 8 B 3/08 Z

A 6 1 L 101:06

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月2日 (2018.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

p H = 5 ~ 6 及び有効塩素濃度 1 0 0 ~ 1 , 0 0 0 m g / L の次亜塩素酸水溶液である第 1 薬剤を、カビが発生した建築物の内外装及び調度品・備品などの処理対象物の処理対象領域表面に噴霧する第 1 薬剤噴霧工程と、

前記第 1 薬剤噴霧工程後にこの噴霧した領域を風乾する第 1 風乾工程と、

前記第 1 風乾工程後に、前記処理対象領域表面に、p H = 7 ~ 8 及び有効塩素濃度 1 0 0 ~ 1 , 0 0 0 m g / L のモノクロラミン水溶液である第 2 薬剤を噴霧する第 2 薬剤噴霧工程と、

前記第 2 薬剤噴霧工程後にこの噴霧した領域を風乾する第 2 風乾工程と、  
を有することを特徴とする有色カビの除去方法。

【請求項 2】

前記第 1 薬剤噴霧工程と、前記第 1 風乾工程と、前記第 2 薬剤噴霧工程と、第 2 風乾工程とを汚れの程度に応じ複数回繰り返すことを特徴とする請求項 1 に記載の有色カビの除去方法。

【請求項 3】

前記第 2 風乾工程後に、前記第 1 薬剤を前記処理対象領域が湿る程度に噴霧した後、前

記第 1 薬剤を浸み込ませた布又はペーパータオルで浮き出た有色のカビ残渣を清拭する清拭工程を有することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の有色カビの除去方法。